

九州工業大学の末田慎二教授らのグループは、細胞にある核の膜だけをきれいに染色できる手法を開発した。高温の場所に生息する「古細菌」という生き物から見つかった特殊なたんぱく質を使い、核にある膜だけに蛍光物質がくっつくようにした。基礎研究で細胞分裂の様子が詳しく観察できる可能性がある。

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気の治療薬の開発につながる構成されている。従来の手法で核にある膜だけを構成するには、核膜のたんぱく質に蛍光物質を付けていた。ただ、核膜のたんぱく質を狙いきれいで染色することは難しかった。

研究グループは、火山や温泉など高温の場所に住む古細菌から見つけたたんぱく質を利用した。基礎研究で細胞分裂の様子が詳しく観察できる可能性がある。

きるほか、細胞分裂や核を調べる基礎研究のほか、医療分野での利用も見込んでいた。

りゅうぎん総合研究所（那覇市）は2018年の沖縄県内での国内プロ野球キャンプの経済効果を試算し、前年比12.1%増の122億8800万円で過去最高だった。

沖縄でキャンプをしたのが要因と分析している。沖縄でキャンプをしたと発表した。県外からの観客が大幅に伸び、宿泊費や飲食費、土産品・グッズの購入費が増えたのが要因と分析している。沖縄でキャンプをしたのは1軍が9球団、2軍複数のセンサーで豚舎内の環境データを外部から測定できる仕組みも開発した。従来より人手をかけず、飼育する試みだ。

宮崎大学とは10年の口蹄疫（こうていえき）による畜産業の大々的な被害をきっかけに、共同研究を始めた。13～15年にかけて同大でミニ豚舎、豚100頭規模を育てる場合を試算。設備費用に割ほど短くなる可能性がある」という。子豚の流行性下痢などが響いた。

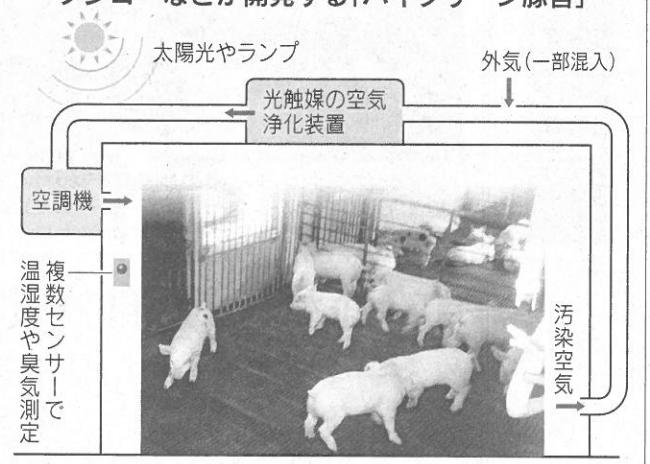
宮崎大の末吉益雄・産業動物防疫リサーチセンター防疫戦略部門長は「臭気や浮遊菌を一定基準に抑えることで子豚の発育が促され、通常半年ほどかかる飼育期間を1年程度で投資回収できる」とみている。

料代の節約や疫病予防のコストを勘案すると、6割ほど短くなる可能性がある」という。

## 豚舎 もう臭わない

金属加工のフジコー（北九州市、萩尾寿昭社長）は宮崎大学と組み、衛生面の改善によって臭気を抑え、子豚の発育を早める「ハイクリーン豚舎」の開発を進める。2018年内に自社工場内にコンテナタイプの豚舎を設け、子豚を飼わずに飼育を始める計画だ。金属加工技術をもとに異なる分野を開拓するユニーブル試みだ。

### フジコーなどが開発する「ハイクリーン豚舎」



ハイクリーン豚舎は大型コンテナ（長さ14m、縦横2.5m）を使い、屋上に独自開発した空気浄化装置を置く。空調機

雑菌も抑える

（北九州市、萩尾寿昭社長）は宮崎大学と組み、衛生面の改善によって臭気を抑え、子豚の発育を

早くするには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や核などは、脂質

で構成されている。従来の

手法で核にある膜だけを

染色するには、核膜のた

んぱく質に蛍光物質を付

けたものを使っていた。

ただ、核膜のたんぱく質

は染色体など別の物質に

もくつきやすく、膜だ

きるほか、細胞分裂が異常に進むがんなどの病気

の治療薬の開発につながる可能性がある。

細胞や